

2023年度 M6 選択型 CC 指導体制評価まとめ

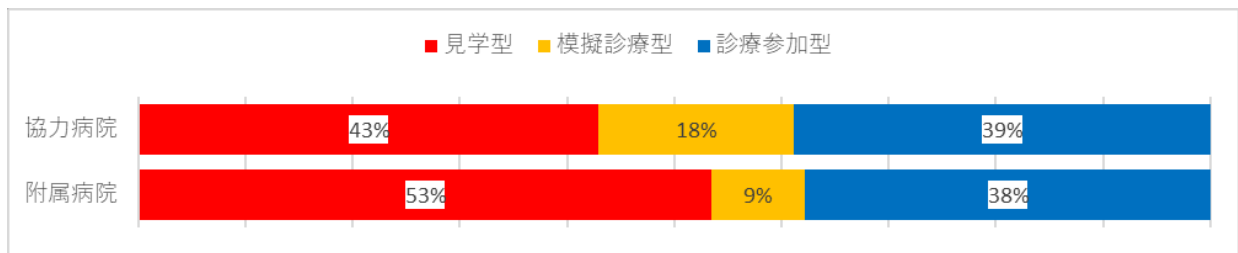
期間：2023年1月10日～2023年6月30日

対象：102名

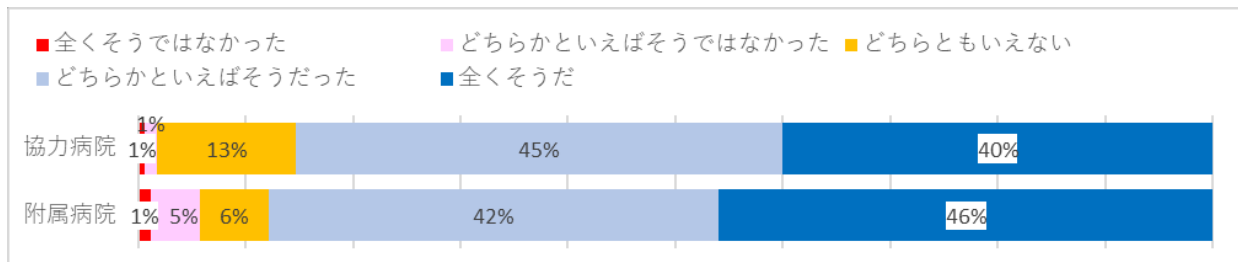
回答数：342（協力病院 170/附属病院 172）

回答率：83.8%（協力病院 83.3%/附属病院 84.3%）

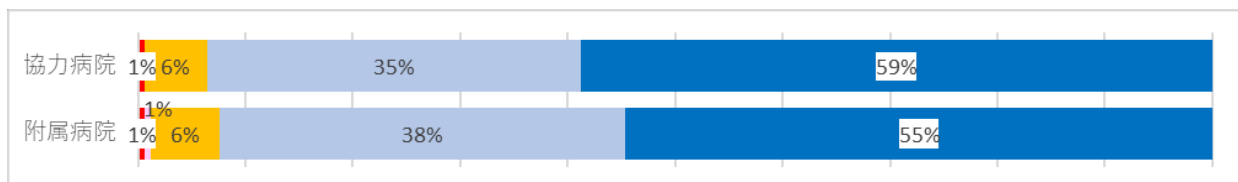
① 今回の実習は主にどの臨床実習形態でしたか



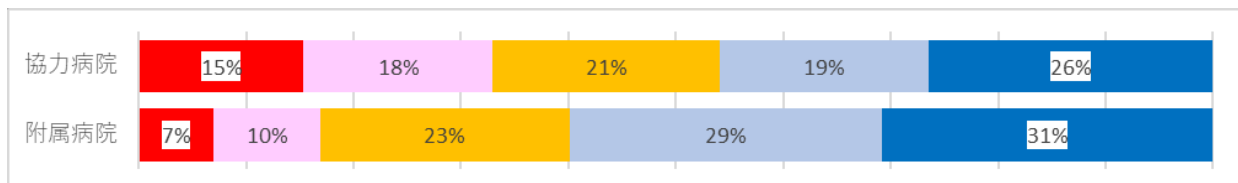
② 始めにクラークシップで自分に与えられる診療上の役割が説明された



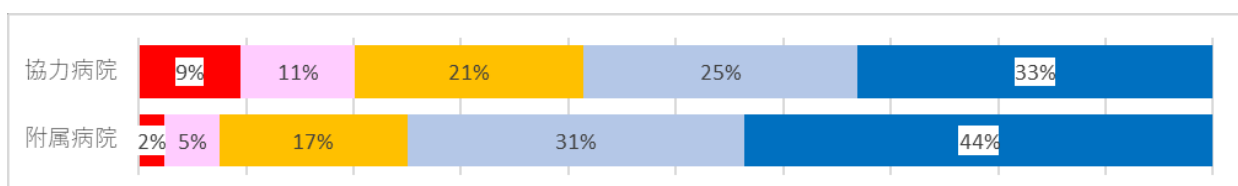
③ 患者数や疾患の種類は適切だった



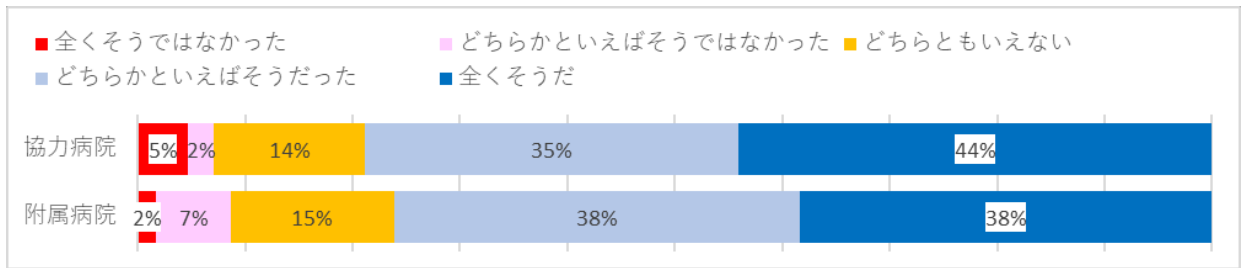
④ 正規のカルテを記載する機会が十分に与えられた



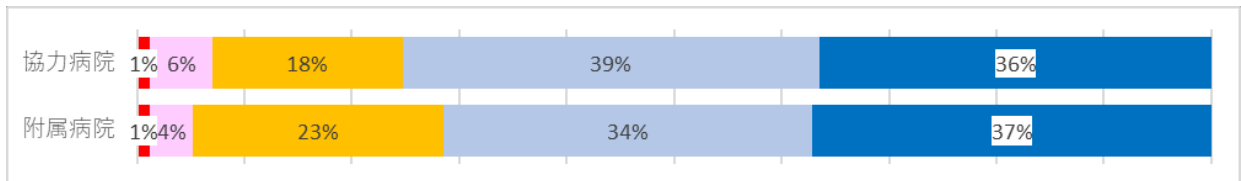
⑤ 回診、カンファレンスなどで症例呈示の機会が十分に与えられた



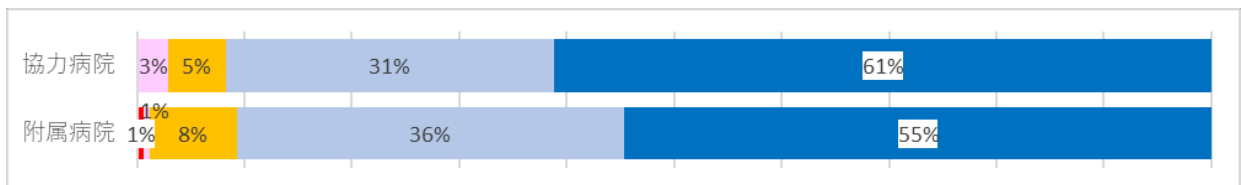
⑥ 医療手技を行う機会が十分に与えられた



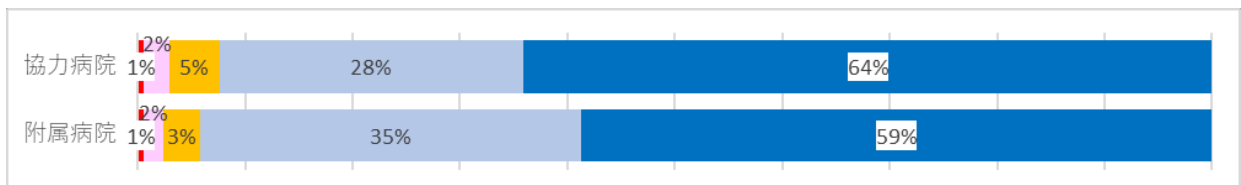
⑦ 診療方針について自分なりの意見を述べる機会を与えてくれ、ディスカッションができた



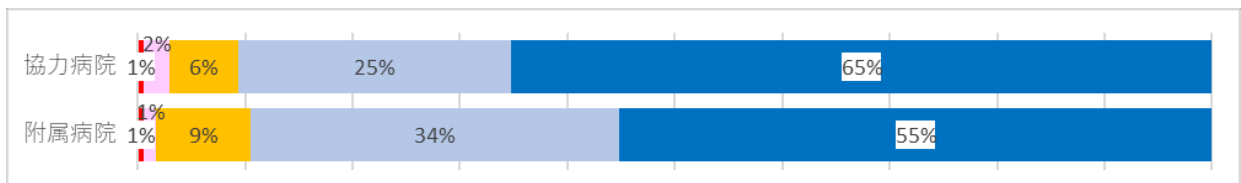
⑧ 口頭で情報提供、あるいは、役に立つテキストや論文などが配付されるなど、手技のコツや診断のカギとなる医学知識をよく学べるように適切な援助を受けた



⑨ 指導医や研修医、看護職員から、技能・知識・態度に関するフィードバックがあった



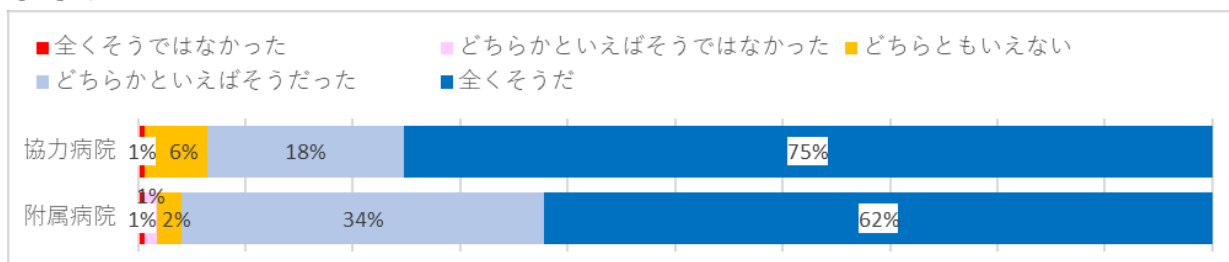
⑩ 指導医や研修医は自分を医療チームの一員として尊重してくれた



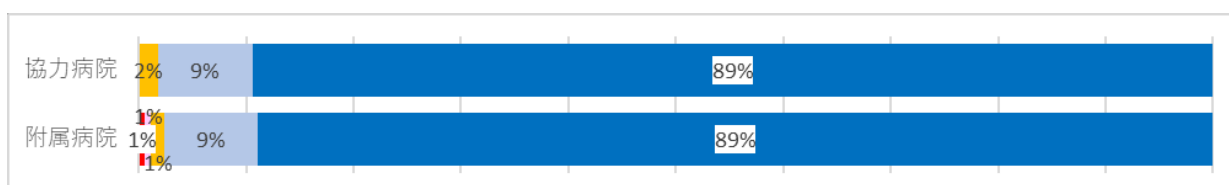
⑪ 指導医や研修医は相談しやすかった



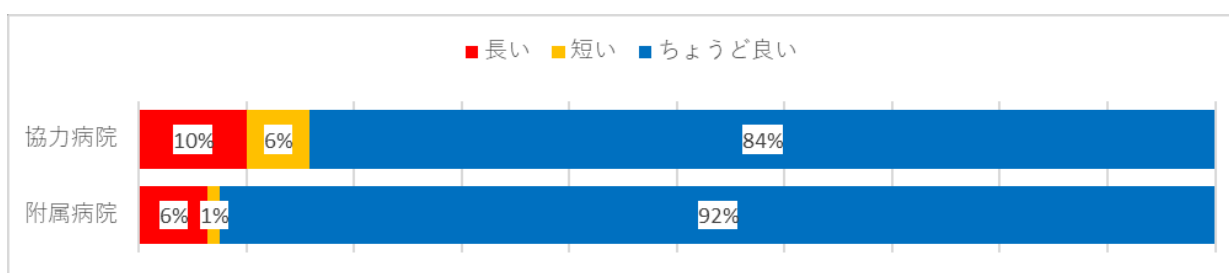
⑫ 指導医や研修医はチーム内、メディカルスタッフとの人間関係がうまくいくように配慮してくれた



⑬ 自分の接した指導医、研修医の先生方は、熱心に指導してくださいましたか



⑭ 1 病院 4 週間の実習期間について



⑮ 上記の理由を教えてください

(長い/協力病院)

- ・長いと思った(3)
- ・最後の方ははじめの方に比べてだらけてしまうことがあった(2)
- ・一週間で同じスケジュールだったので、4週間で4回同じスケジュールを行っていたことになるため、他の科についても回れる期間があればよかった(2)
- ・病院が田舎だった
- ・大体同じような症例になる
- ・麻酔科的問題のある患者であればより深い知識を必要とするが、導入後から抜管までは特に(学生にとって)十分実習のためになるような行ないないため。

(長い/附属病院)

- ・長いと思った、2週間で十分(4)
- ・一つの診療科について学生としてある程度学べたかなと思った

(短い/協力病院)

- ・ある程度診療に参加できるようになり、手技などが自信を持ってできるようになった頃に終わってしまうため(3)

- ・4週間で8診療科の実習のため、1つの診療科が短い。
- ・4週目に入って、ようやく救急外来での動きに慣れてきていたから
- ・画像診断や放射線科の検査業務を理解するには4週では足りなかった
- ・もっと実習で色々な症例を見たかった。先生にも4週間は短いと言われた
- ・先生方が熱心に指導してくださったので、もっとたくさん学びたいと思ったから。
- ・学生1名に対して主に4名の指導医に常に指導・対応していただけた。担当患者数は3名、毎日の診察診療とカルテ記載および患者の状態評価や治療方針に対するフィードバックを常にいただけたほか、その周辺に関わる医学的・臨床的知識や技術・態度について惜しみなくご指導いただきました。担当患者はカンファレンスでも学生に積極的に発表させていただき、他患者に対しても質問を通して積極的にディスカッションに参加させていただいた。他にも多々あるが、主な点だけでもこれだけ熱心に4週間指導いただき、皆様には感謝の念に堪えない。

(短い/附属病院)

- ・コロナの影響で手術件数が減っていたため
- ・毎日異なる疾患の治療現場を見学させてくださり、毎日新鮮な気持ちで取り組めたのであっという間だった

(ちょうど良い/協力病院)

- ・4週間でじっくり学ぶことができた、実り多かった(28)
- ・地域性の理解や、信頼性の構築、病院のやり方に慣れるのに、1ヶ月はちょうど良かった(24)
- ・多岐にわたる疾患を経験できた(13)
- ・2週間では学べないことがあると思った(4)
- ・5回生の実習より長いことでより深く学ぶことができた(2)
- ・1ヶ月の期間を通じて患者の経過を観察し、十分なプレゼンを行うことができた(2)
- ・あっという間だった
- ・毎日多くの手術が行われており、大学で見られない種類のオペに参加することができたため
- ・病院の一日の流れやスタッフの役割分担などを理解した上で、一員として手伝わせていただいたり実習内容を拡大していただけたりしたから
- ・マッチングで気になっていた病院だったので、実習はもちろん、四週間の間で研修医の先生方ともお話しすることができてアドバイスをたくさん頂けた
- ・複数の科をまわられて良かった、幅広い症例を経験できた(22)
- ・自由に実習期間を決めることができ、実習期間は適切だと思った
- ・ひとりの患者さんを追いかけるには2週間がちょうどよく、2診療科回るのであれば4週間という期間は合理的だと感じたから

(ちょうど良い/附属病院)

- ・一つの診療科を勉強するには、1ヶ月がちょうど良いと感じたから(42)

- ・様々な疾患を経験できたから(14)
- ・長期の入院の経過を十分にみることができた(14)
- ・優しく丁寧に指導してもらった(8)
- ・5回生時と比較しても実習に参加できる期間が十分に設けられていた(8)
- ・手術も様々なものが見れた(6)
- ・実習と自主学習を共に充実させることができたから(5)
- ・特に不満を感じなかったため(2)
- ・手技や読影の腕を上げられたから(2)
- ・再診の患者さんの診察も出来た
- ・産科と婦人科で2週間ずつとなっており、短期集中で回ることができた。

⑩ 今回の実習について良かった点

(協力病院)

- ・先生方が熱心に指導してくださり、またとても相談しやすかった(49)
- ・先生方ができるだけ様々な経験(検査、手技、外来、画像読影、発表など)をさせてくださった(32)
- ・様々な手術、手技を見学させて頂いたこと(27)
- ・4週間と長めに時間があつたため、腰を据えて勉強ができた、多くの経験ができた(19)
- ・自習の時間も確保できた、自習の場を提供いただけた(13)
- ・かなり多くの症例を見ることができ勉強になった(11)
- ・大学病院では見れないような疾患も見ることができた(7)
- ・病院全体や他院との関わりについて知ることができた(5)
- ・先生方や研修医と接し、たくさんのことを学ぶことができた(5)
- ・自由度が高かった(4)
- ・学生の希望をできる限り尊重していただき、積極的に学ぶことができた(3)
- ・ほとんど研修医と同じように、様々なことを実際に行わせていただいた。来年 研修医になった際にどういった動きや勉強が求められるのか具体的にイメージすることができ、今後の学びのモチベーションになった(3)
- ・コメディカルや事務の方の話を聞くこともでき、医師だけでなく病院全体で実習を行っていただいたところがとても良かった(2)
- ・医師のあり方や医療経済についても学べた
- ・僻地医療の実態について知ることができた。また、総合診療や家庭医療の考え方を学び実践することができた。生活環境も整えられていて、快適に実習生活を送ることができた。

(附属病院)

- ・熱心にご指導くださった(29)
- ・手術をはじめ、色々な治療や処置、治験に立ち会えた(25)
- ・とても勉強になった、多くのことを学べた(21)

- ・自主性を重んじてくれた(15)
- ・手技の機会をたくさんいただいた(12)
- ・外来、レクチャー、プレゼン等、医療チームの一員として多様な所で学べた(11)
- ・様々な疾患を見ることができた(8)
- ・カンファレンスにて先生方がディスカッションしている場に参加できた(8)
- ・1ヶ月しっかり患者の経過を追うことができた(5)
- ・発表の場を与えていただいた(3)
- ・十分な自習時間を確保出来た(3)
- ・予診や身体診察のチャンスが十二分にあった(2)
- ・担当症例について、論文を読み、細部まで考察できた(2)
- ・いろいろな先生と関わられた
- ・学会に連れて行ってもらったことがとても楽しく、勉強にもなった

⑰ 今回の実習について悪かった点（反省点も含む）

（協力病院）

- ・特になし(62)
- ・手技をする機会が少なく見学がほとんどであった(4)
- ・先生方も忙しく、気軽に質問できる雰囲気ではなかった(3)
- ・自習時間があまりなかった(2)
- ・わからないことばかりでしんどかった(2)
- ・カルテの見方をもう少し教えていただきたかった
- ・もっと臨床推論について考え、深める時間を設けるべきだった
- ・一つ一つの診療科が短くなってしまった
- ・救急なので患者が来ない時間は立ちっぱなしであまりやることがなかった
- ・救急のピッチがなかった
- ・病棟の業務に参加できなかった
- ・指示がなく待つことが多かった
- ・具体的な実習予定が定まっていなかった
- ・法律上の問題とはいえ挿管を試みたかった
- ・研修医の先生方がとても親切にカンファレンス資料の作り方についてアドバイスしていただき定時過ぎまで残ってくださることもあったので、ありがたかったと思うと同時に申し訳ないという気持ちもあった
- ・朝が早かった
- ・毎日8時半～17時はなかなかハードだった
- ・大学から学生を9時5時で拘束するように言われている旨の話を聞いたが、その縛りの理由が分からない

- ・病院自体はきれいではあったのですが、病院の立地がなかなかの田舎にあったので、いろいろ大変でした。でも楽しかったです。
- ・もっと予習・準備して取り組めばよかった(17)
- ・もう少し積極的に関わるべきだった(14)
- ・手技をさせてもらう機会が、上手くできなかった(6)
- ・ご迷惑やお手数をおかけしてしまった(3)
- ・きっちり体調を整えるようにすべきだった(3)

(附属病院)

- ・特になし(54)
- ・講義、カンファ、患者さんと接するなど、勉強の機会が少なかった(6)
- ・手技を練習する機会が少なかった(3)
- ・もっと手術をたくさん見たかった(3)
- ・入院患者数が少なかった(2)
- ・内容が難しく学生のレベルを凌駕するところもあった(2)
- ・少ししんどかった
- ・毎日同じ内容だった
- ・カンファレンスが遅くまであった
- ・人数が多く参加しにくいことがあった
- ・カンファレンスの画面が見にくかった
- ・教科書を貸していただければよかった
- ・オペで少し手伝う場面があったが、何を指示されているのかわからないときがあった
- ・予定が定まらない診療科ということで、その日の実習内容が自身の勉強だけの日もあった
- ・学生が担当する外来の先生との連携がうまくいっていない時があったのか、呼ばれないまま外来が終わっていたということが何度かあった
- ・自分だけ自習時間が短かった(→病院見学に行けなかった)。熱心に指導していただけるのはありがたいですが、マッチング前で焦っている学生の気持ちもわかってほしい
- ・もう少し予習・準備すればよかった(21)
- ・もう少し積極的に参加すればよかった(15)
- ・手技がうまくできなかった(3)

⑱ どのようなことを学んだと思いますか

(協力病院)

- ・患者への接し方とコミュニケーション(患者との対応方法、患者との信頼関係の構築、患者の声を聴く重要性、問診の方法と臨床判断力の向上)
- ・臨床スキルと診断方法(画像の読み方、手技、鑑別診断方法、適切な検査)
- ・専門領域に関する知識

- ・ 医師としての倫理とプロフェッショナリズム（医療倫理の理解、多職種との連携の重要性、患者のケアと病状管理）
- ・ 臨床実践と病院運営（病院での業務の理解、医療チームとしての役割、市中病院と大学病院の違い、病院内での連携と役割分担）
- ・ 専門医としてのスキル（専門領域の手術技術、手術の実施方法と手順、患者への適切な治療提案、臨床診療の最先端に触れる機会）
- ・ 教育とプレゼンテーションスキル（医学用語の定義、プレゼンテーションスキルの向上、学びを他の医学生や医療スタッフに伝える能力）
- ・ 救急医療とファーストタッチのスキル（救急対応スキル、2次救急とその特性の理解、救急患者の適切な評価と対応）

（附属病院）

- ・ 疾患の理解（病態や治療法、診断方法など、幅広い疾患に関する知識）
- ・ 臨床スキル（診察や手術、画像診断、臨床検査の解釈、鑑別診断、治療計画の立案などの臨床スキル）
- ・ 医療コミュニケーション（患者とのコミュニケーションや問診スキル、診察技術、伝達力、プレゼンテーション力など）
- ・ 多科連携（異なる科の連携や情報共有の重要性）
- ・ 臨床研究（統計解析、疫学的アプローチ、論文の読み方、研究のデザインなど、臨床研究に関するスキル）
- ・ 医師としての倫理と責任（合併症や全身管理、治療の倫理、同意の取得など、医師としての倫理的な視点）
- ・ 外来・入院の違い（患者の診療環境や管理方法についての理解）
- ・ 未来への展望（将来の医療キャリアや専門分野の選択肢、自己成長の方向性）